

2020年3月31日

地区ガバナー 各位
地区ガバナーエレクト 各位
地区危機管理委員長 各位
地区 R 青少年交換委員長 各位

一社) 国際ロータリー日本青少年交換
多地区合同機構 (RIJYEM)
理事長 鈴木 孝雄
アドバイザー 近藤 眞道
事務統括 津留 起夫
青少年交換委員長会議準備委員会

2020-21 年度青少年交換プログラム実施について COVID-19 (新型コロナウイルス) 対応 (その5)

冠省

昨年度の青少年交換プログラムに参加している交換学生数は、世界で1万人を数えており、日本の34地区でも、来日学生・派遣生徒の合計は340人となっています。青少年の安全環境を維持する使命がロータリアンには課せられており、新型コロナウイルス (COVID-19) から、子供たちを守る事が今第一のなすべきことです。

過日、RIJYEM 危機管理委員会は、対応指針 (その1からその4) を地区ガバナーに要請致しました。それは COVID-19 (新型コロナウイルス) のパンデミックによる今年度の交換プログラム中止を要請する内容です。地区ガバナー及び地区リーダーの皆様には、要請へのご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、表題にあります次年度 (2020-21 年度) の青少年交換プログラム対応について、多くの地区から指針を求められております。これを受けて、RIJYEM 青少年交換委員長会議支援委員会は、対応指針を検討し決定しましたので、地区ガバナー及び地区リーダーの皆様にご配慮を要請致します。

COVID-19 感染拡大の収束については誰も予測は出来ませんが、委員会は、外務省が発出する感染症危険情報の危険度レベルを、感染の収束度を示す基準指標とすることに決定しました。折しも2020年3月25日、外務省より全世界を「危険度レベル2」とすることが発出されましたので、これを受けて、RIJYEM 地区青少年交換委員長会議準備委員会は、プログラム中止の決定をしております。(注記: 「レベル2」の意味するところは、不要不急の渡航は中止)

今後も皆様におかれましては、外務省のみならず、WHO や CDC・米務省の発表する警告レベルを注意深く注視していただきますようお願いを致します。

草々

RIJYEM 地区青少年交換委員長会議準備委員会決定指針（その5） （2020年3月31日）

（まえがき）

全国34地区の青少年交換プログラムに関係されているロータリアンの方々、連日対応に苦慮されておられる事と拝察いたします。まずは、ガバナーを始め関係ロータリアン各位に心から感謝の念を捧げたく存じます。

青少年交換プログラムの責任者は地区ガバナーであり、具体的には下記の点を十分にご配慮していただき、地区ガバナーが最終判断をしていただきますよう要請します。

★基本方針

我々は、青少年交換の若者を守ることが最優先事項であることを再度認識する。

★決定指針

1) 2020年2月25日付指針で、「受入学生は母国の指示（注：母国政府の指示）に従うこと、派遣生徒は「日本国政府の指示」に従うことを原則とする」と通達させていただきました。しかし、次年度の2020-21年度青少年交換プログラム参加は、送出し側、受入れ側の双方とも「日本国政府の指示に従うこと」を原則とします。

2) この原則に従い、2020年5月31日までに、外務省感染危険情報の危険度レベルがレベル1に回復しない限り「2020-21年度の青少年交換は中止する」ことを指針とします。

3) 各地区におかれましては、この指針に従いつつ、交換予定の海外地区関係者と早急に連絡をとり、交換相手との個別の関係・状況も考慮して、相互に意見調整のうえ合意をとっていただきますようお願いいたします。

4) 派遣候補生、ご両親、学校関係者の同意も必要です。それぞれの地区の状況を踏まえつつ、これらの関係者、特に派遣候補生のケアに最大限の努力を尽くしていただく事をお願いします。

（補足説明）

1) 「感染症危険情報」は、新型インフルエンザ等危険度の高い感染症に関し、渡航・滞在にあたって特に注意が必要と考えられる国・地域について発出される「海外安全情報」です。（別紙資料参照）

2) 派遣候補生の救済措置等の方法は、さまざま考えられますが、一方各地区が同じような方法をとるとは限りません。その為、救済方法の温度差は生じますが、派遣候補生が享受する利益が大きくなる方法のご配慮をお願いします。

（あしがき）

ロータリー-青少年交換プログラムは、現在毎年約1万人の高校生が世界約50ヶ国と交換をしています。これらの1万人の未成年の若者の命と安全を守ることが私たちロータリアンの責務であります。次年度の送出し、受入れの事務手続きは3月末のこの時期、ほぼ最終段階に入っていると存じます。

海外に派遣される子供達、また、日本に来る子供たち、それぞれに大きな夢を抱いて、新しい未知の世界を楽しみにしているに違いありません。その彼らの気持ちを思うとき、プログラムを中止する指針を皆様へ提示するのは、本当に辛く悲しい思いです。しかし、子供の命は何よりも大切なものです、どうか、それらの子供達の親として、決断をしていただくことを切に要望します。

別紙資料 001

警告レベルの比較

レベル	1	2	3	4
日本 外務省 海外安全情報	十分注意してください	不要不急の渡航は止めてください	渡航は止めてください(渡航中止勧告)	退避してください。渡航は止めてください。(避難勧告)
	WHO の緊急委員会が開催され、渡航に危険が伴うと認められる場合等。	WHO の緊急委員会が開催され、「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態 (PHEIC)」と認定する場合等。	「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態 (PHEIC)」が发出され、WHO が感染拡大防止のために防疫・渡航制限を認める場合等。	レベル3に定める WHO が感染拡大防止のために防疫・渡航制限を認める場合であって、現地の医療体制の脆弱性が明白である場合等。
CDC アメリカ疾病予防管理センター 旅行勧告	注視： 通常の予防措置を実践する (Watch) Practice Usual Precautions	警戒： 強化された予防措置を実践する (Alert) Practice Enhanced Precautions	警告： 不要な旅行を避ける (Warning) Avoid Nonessential Travel	
アメリカ合衆国国務省 旅行勧告 United States Department of State	正常な予防措置の実施： (Exercise normal precaution)	注意強化の実施： (Exercise increased caution)	旅行の見直し： (Reconsider travel)	旅行しない： (Do not travel)

外務省海外安全ホームページ
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

CDC 旅行健康通知
<https://wwwnc.cdc.gov/travel/notices/>

米国務省グローバルヘルスアドバイザー
<https://travel.state.gov/content/travel/en/traveladvisories/traveladvisories.html/>